

有機の茶畑から届いた、初夏の新茶

今月の産地・**有機と農・自然をつなぐ会**のメインカー



土に育まれた茶葉の清々しい香り。ひと口ごとに広がるうまみと甘み。この季節だけの一杯をゆつたりと楽しんで。

土を育て、香りを磨く一杯のお茶ができるまで

「有機と農・自然をつなぐ会」では、化学合成農薬や除草剤、化学肥料を使わずにお茶を育てています。枯れ草や堆肥を畑に入れて土を育て、微生物の力を借りながら、茶の木がゆつくりと栄養を吸収できる環境をつくっています。



「やぶきたみどり」の茶畑
茶の新芽
代表の杵塚一起さん(左)と創業者の杵塚敏明さん



事務所兼加工場

大きな被害を受けました。しかし4、5年たつ頃には、収穫も安定。害虫だけでなく、それを捕食する益虫も戻ってきたからです。

2017年には有機JAS認証を取得しましたが、同認証で使用認められている化学合成農薬も使っていません。認証取得後も、農作業のやり方は変わらず、もちろん、お茶の味や香りも変わっていません。

摘み取った茶葉は、すぐに蒸して発酵を止めます。3時間ほどかけて乾燥と揉み（もみ）を繰り返し、手の感触を頼りに形を整えます。荒茶となった葉は、葉や茎が混ざり合った姿です。

出荷前の火入れは、とても繊細な工程。ほんの少しの違いで香りが変わります。経験と勘がものをいう場面です。仕上げに窒素を充填し、袋に詰めて出荷されます。袋を開けると、お茶の良い香りが立ち上がります。開封後はできるだけ早めにどうぞ。その一杯に、土と人の時間が詰まっています。

50年にわたる有機茶栽培

今年で有機茶栽培50年の節目を迎える「有機と農・自然をつなぐ会」。有機栽培でお茶を育て、生産から加工、包装、販売までを一貫して行っています。

藤枝市は、360度を山々に囲まれた土地。昼夜の寒暖差が大きく、霧もよく発生します。お茶作りに適した、恵まれた環境です。

始まりは1976年。農業を茶畑にまことに疑問を感じていた先代・杵塚敏明さんと、食の安全を願う消費者が出会い、「無農薬茶の会」が生まれました。わずか0.1ヘクタールの茶畑からの出発でした。



「有機と農・自然をつなぐ会」

都内生協では東都生協だけ

東都生協とは、創業初期からの付き合い合いです。小さな茶畑から始まり、仲間の農家たちや茶園が広がった50年を共に重ねてきました。

お茶摘み交流会や産地交流訪問、おいしいお茶の入れ方教室や学習会などを通して、組合員との交流も続いています。

50年近い長い付き合いの中で、杵さんちのお茶と親しみをもち、愛用する組合員が増えました。

杵さんの思いと「産地直結の東都生協」の思いとが合わさった東都生協自慢のお茶商品。都内の生協で取り扱いがあるのは東都生協だけです。

看板商品のやぶきたみどり

「やぶきたみどり」は、藤枝市の山間部で育てられた茶葉をブレンドしたお茶です。自社茶園の茶葉と、グループ農家の茶葉を合わせて仕上げられています。

畑ごとに土や日照条件が異なり、茶の木の性格も少しずつ違います。その違いが、味や香りの個性を生み出します。

茶葉の状態を見ながら加工を微調整し、それぞれの良さを引き出します。個性の異なる茶葉を重ねることで、うまみ・香り・渋み・甘みの調和が生まれます。一番茶の新芽を製茶した後、丁寧に仕上げました。

一番茶の新芽を使用 /

有機一番摘み煎茶 やぶきたみどり 100g
①1,080円(税込1,166円) 毎週企画品



茶葉の収穫風景

海外からの研修生の受け入れも

生産者の皆さん

お茶の揉み工程

MOGMOGレシピ

おいしいお茶の入れ方

材料(直径12cmの急須の場合)
・お湯…約100ml(2煎目以降は120ml)
・茶葉…茶さじ1杯(4g)

沸騰したお湯8割に対し、2割ほど常温のミネラルウォーターを加えると50~60℃ほどに温度が下がります。

ワンポイント

1煎目	2煎目	3煎目
1. お湯はいったん沸騰させ、50~60℃ほどに冷ます。 2. 急須に茶葉を入れ、葉が開いた時にヒタヒタになる程度にお湯を入れてふたをし、2分置く。 3. 急須をゆすらず静かに注ぐ。	120mlのお湯を80℃ほどに冷ましたお湯で30秒置き、同様に。	120mlのお湯を80~100℃に冷まして30秒置き、同様に。

※湯飲みには均等に少しずつ回し注ぎ、最後の1滴まで残さない。

『宵越しのお茶は飲むな』はホント?

お茶を入れてから時間がたつと、茶葉から出たカテキンが減っていきます。殺菌作用のある成分が減ることで、残ったたんぱく質が傷みやすくなり、さらにカテキンは酸化して、タンニンというやや刺激のある成分に変わります。状態によっては体調を崩す原因になることも。「宵越しのお茶は飲むな」という昔からの先人の知恵・ことわざには、やっぱり意味があるようです。